

【会員だより】

短 15 回生 同窓会リレーエッセイ 第三回

新型コロナウイルスの為、同窓会を中止となりました。その為、今回の同窓会幹事から順番にご推薦頂いた短 15 回生の皆様からリレー形式により 4 回にわたり連載させていただきます。内容は学生時代の思い出や近況報告でお願いしています。

紫雲会千葉南病院 櫻庭 佳奈子(短 15 回生)

私ならではの、ということで難しい話でもためになる話でもなんでもありませんが、千葉県出身の私の話をさせていただきます。

入学前、私は千葉から京都へと観光では来たことがあるもののほぼ知らない土地に行くことに期待と不安でいっぱいでした。正直に言えば、早く千葉に帰りたいと最初のころはずっと思っていました。

けれど、入学式の日で大ボケをかました私を受け入れてくれたり、通学電車の中でいろんなことを話したり、学生自治会でイベントの準備に四苦八苦している自分をみんなが手助けしてくれたり、友人や先輩、後輩の気遣いに感銘を受けたり、下宿先でみんなと夜通し楽しく飲んだり、いろんな友人達、先生達に助けられ支えられ、かけがえのない 3 年間で過ごせました。

卒業式の日みんなと別れることがあまりにも悲しくて、私はずっと泣いていました。入学当時、こんなに泣いてしまう日が来るなんて思いもしませんでした。

今でも京都で過ごした日々と友人達は、京都から遠い千葉で働いている私の支えになっています。

そして、現在勤めている病院は、数年前まではのんびりとした病院でしたが、周辺地域の開発が進み居住者が増加したのをきっかけに、医師や放射線技師を増員し様々な検査を行うようになりました。初めて行う検査では大学病院に研修に行かせていただいたり、新しい撮影プランや他部署との連携を考えなければいけなかったりと大変ですが充実した日々を過ごしています。

最後に、昨今は SNS で近況を知ることができそうですが、やはり直接みんなであっていろいろと話したい！そんな気持ちでいっぱいです。前は諸事情で参加できなかった分、そしてコロナ禍でなかなかみんなに会いに行けなかった分、今回の同窓会をとっても楽しみにしていました。なので延期はとても残念でしたが、この状況が落ち着き、また開催されることを心待ちにしています。



以上

* 通巻 245 号 2022 年 10 月 10 日発行(2022-No.3)より